

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）

総括研究報告書

間脳下垂体機能障害に関する研究

研究代表者

有馬寛 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学・大学院医学系研究科・教授

研究要旨

ACTH 分泌異常症、GH 分泌異常症(成人)、GH 分泌異常症(小児)、TSH 分泌異常症、PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、バソプレシン分泌異常症、偶発的下垂体腫瘍、自己免疫性視床下部下垂体炎、および先天性腎性尿崩症の CQ に対する推奨の強さを研究者全員の投票により決定し、CQ に対する推奨文およびその解説文を作成した。また、難病プラットフォームの雛型を用いて作成した各疾患のレジストリに患者登録を行った

A. 研究目的

間脳下垂体疾患および先天性腎性尿崩症の診療に資する診断ガイドラインおよび疾患レジストリを策定する。

た。また、策定した各疾患のレジストリに患者登録を行った。

B. 研究方法

ACTH分泌異常症、GH分泌異常症(成人)、GH分泌異常症(小児)、TSH分泌異常症、PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、バソプレシン分泌異常症、偶発的下垂体腫瘍、自己免疫性視床下部下垂体炎、および先天性腎性尿崩症を担当するチームリーダーおよび分担者がそれぞれの疾患のCQに対する推奨文およびその解説文を作成するとともに、レジストリへの患者登録を行った。

D. 考察

間脳下垂体疾患および先天性腎性尿崩症の診療ガイドラインの改訂に資するCQに対する推奨文および解説文を作成することができた。また、新たなエビデンス創出に繋がる疾患レジストリの拡充に向け、患者登録を行うことができた。

(倫理面への配慮)

特記すべきことなし。

E. 結論

間脳下垂体疾患および先天性腎性尿崩症のCQに対する推奨文および解説文を作成するとともに、各疾患レジストリへの患者登録を行った。

C. 研究結果

CQに対する推奨文およびその解説文を作成し

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

各分担者報告参照

2. 学会発表

各分担者報告参照

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし